Onsites AI

DEPLOYMENT GUIDE · EDITION 2.0

セルフホスト導入ガイド

データはお客様のサーバーに

1つのイメージ、2つのネットワーク。インターネット接続も、完全オフラインも可能です。モデルとストレージはお客様がご用意いただき、当社はこの2項目の費用を申し受けません。インストール、アップデート、サポートは当社が担当します。



バージョン	リリース	対応OS	文書番号
第2.0版	2026年11月	Linux · Windows · macOS	ONS-SH-JA-2.0

© 2026 Onsites AI · 本書は製品のアップデートに合わせて改訂されます。最新版は onsitesai.com/jp/download.html をご覧ください。

目次

CONTENTS

01 **セルフホストの判断** 3つの組織像、判断表、不要なケース 03

02 **アーキテクチャと要件** 1つのイメージ、4つの経路、オフラインと更新 04

03 **4ステップの導入** 評価・導入・接続・パイロットの成果物 05

04 **ライセンス・費用・責任** 価格体系、クラウドとの違い、責任分界 06

1ページでわかる

$20 /シート/月
年払い $240
10シートから

24 時間
インストール・設定
移行調整の所要時間

60 日
全機能パイロット
完了後にライセンス購入

0 円
AIモデルとストレージ
いずれも無償

お客様の状況	推奨形態	理由
顧客情報・通話記録を国内保管	セルフホスト	国外移転が違反となる場合、データを社外に出さない構成が唯一解。
生産現場・防衛・社内ネットワークで外部接続なし	セルフホスト（オフライン）	オフライン導入とパッケージ更新が必須。ネット認証は不可。
自社モデルとストレージが必須	セルフホスト	モデル・キー・ディスクを自社提供。クレジット購入は不要。
分離性は必要だが運用は任せたい	ビジネス版 · 専用クラウド	専有インスタンスとリージョンを確保。設備とパッチは不要。
通常のチーム、まず受付から	クラウド SaaS	15秒で開通。無料プランでフローを検証できる。

この表で選定の議論はほぼ足ります。細かい判断は第1章を参照してください。

文書の目的

セルフホスト導入の実現性・リソース・費用をIT・セキュリティ・購買部門が評価するための資料です。稟議の添付資料としてそのまま使用できます。

価格の基準

米ドル（USD）、年払い。最終見積は契約と注文書によります。改定時は公式サイトと本書を同時に更新します。

含まれないもの

本ガイドはお客様側のネットワークとハードウェアの調達・構築を含みません。第三者によるコンプライアンス評価に代わるものでもありません。

バージョンとご意見

第2.0版、2026年11月。評価に関するご質問は support@onsitesai.com までお送りください。

01

WHEN TO SELF-HOST

3つの組織像、クラウドでは解けない課題

セルフホストは「割高なSaaS」ではありません。データを社外に出せない組織、あるいはAIとストレージを自社で握る必要がある組織のための形態です。判断基準はシンプルで、予算の問題ではなく、データを自社のネットワークの外に出せるかどうかです。

1.1 3つの典型的なケース

ケース1

データを外部に出せない

官公庁、銀行、医療、規制の厳しい子会社など。顧客情報・通話記録・販売伝票は国内の自社データセンターに保管する必要があり、国外への移転は違反となります。

ケース2

ネットワークの物理分離

生産現場、防衛関連、社内ネットワーク環境では外部接続がありません。オフラインで動作し、オフラインパッケージで更新できる必要があります。「まずネットにつないで認証」は通用しません。

ケース3

AIとストレージの自社構築

モデル、キー、ファイルストレージをすべて自社で用意します。クレジット購入も従量計測も不要で、顧客データは既定で外に出ません。

1.2 判断の軸は「データの所在」

問い 01

データは自社ネットワークの外に出せますか

出せない → セルフホスト。出せるがリージョンと分離の指定が必要 → 専用クラウド。いずれも可 → クラウドSaaS。

問い 02

オフライン動作は必須ですか

必須 → セルフホスト+オフラインパッケージ更新。不要 → 3形態いずれも可。運用コストで選択。

問い 03

モデルとキーは誰が用意しますか

自社で用意 → セルフホスト。AIとストレージの費用はかかりません。基盤側が一括で呼び出す → クラウドまたは専用クラウド。

問い 04

運用は誰が担いますか

当社が運用 → クラウド / 専用クラウド。お客様の運用チーム+当社サポート → セルフホスト。

図 1-1　4つの問いを終えると形態はほぼ決まります。1つでも「自社で握る必要がある」と答えた時点で、結論はセルフホストに収束します。

1.3 セルフホストが不要なケース

- **「データセキュリティ」が心配なだけで、明確な制約がない場合。**クラウドでも TLS 1.3、保存時の暗号化、シート権限、ワークスペース分離、監査ログを備えています。まず第12章（製品マニュアル）をご確認ください。
- **サーバー室も運用要員もない場合。**セルフホストにはサーバー、パッチ、バックアップの管理者が必要です。いない場合は専用クラウドが現実的な妥協案です。インスタンスは専有、リージョンも選択でき、運用は当社が行います。
- **まずフローを検証したい場合。**クラウドの無料プランで「1つのキューが全チャネルを受ける」運用を試せます。検証後に形態を決めれば、先行投資を避けられます。

ひとつの経験則　本当にセルフホストが必要な組織は、初回の打ち合わせで「国外移転」「監査」「社内ネットワーク」という言葉が出ます。1つも出ない場合は、まずクラウドか専用クラウドから始めてください。コストもリスクも小さく済みます。

02

ARCHITECTURE

1つのイメージ、4つの経路

イメージは1つだけです。個別保守のミドルウェアもベンダーロックインもなく、クラウドも社内サーバーも同じイメージで動くため、更新も障害対応も同一の手順です。

2.1 デプロイ構成



図 2-1　4つの経路。中央の2層は社内ネットワーク内、最下層は任意です。完全分離ではモデルは社内、出口はメールのみ。

2.2 リソース一覧

項目	要件
対応OS	Linux · Windows · macOS
最小構成	仮想マシン1台 · 4コア · メモリ8 GB · 帯域3 Mbps
ネットワーク	インターネット接続または完全オフライン。オフライン環境はパッケージで更新
AIモデル	お客様のAPIキー、社内モデル、または物理分離エンドポイント
ストレージ	お客様のディスク。容量はお客様管理。チャットとメール本文は僅少、主な消費は添付ファイル
バックアップ	スクリプトはライセンスに同梱。お客様の保存方針に従って実行

2.3 オフラインと更新

- **オフラインインストール。**インストールパッケージと依存関係をまとめて提供するため、デプロイ時に何かをオンライン取得する必要はありません。
- **オフラインアップデート。**新バージョンはオフラインパッケージで提供し、取り込み後に手順に沿って更新します。「まずネットにつないで認証」は不要です。
- **障害対応も同一。**クラウドと社内環境で同じログとヘルスチェックを使うため、当社が見る情報も同じです。
- **セルフインストールパッケージは配布しません。**デプロイは当社が行うためです。

リソースの見積もり　シート50名以内、添付がTB級に達しない場合、4コア8 GBの単一マシンで十分です。変数はシート数・同時接続数・添付量。迷う場合は想定規模をお知らせください。評価時に調達可能な一覧をお出しします。

03

ROLLOUT

4ステップの導入、各ステップに成果物

セルフホストのリスクはソフトウェアではなく、「導入後に完了したかどうかを誰も判断できない」ことにあります。そこで4ステップそれぞれに成果物を定めます。評価では一覧、インストールでは稼働環境、接続では接続試験の記録、パイロットでは稟議に使える結論です。

3.1 4つのステップ

STEP 01

環境評価

アーキテクチャ、データレジデンシー、分離要件を確認し、そのまま調達できるリソース一覧を提示します。

STEP 02

インストール

一時費用 $299 のお支払い後、当社がインストール、設定、データ移行の調整を約24時間で行います。

STEP 03

AIとストレージの接続

自社モデルのキーまたは社内エンドポイントを入力し、ディスクの場所を指定します。この2項目は無償です。

STEP 04

パイロットと購入

全機能を60日間運用し、その後シート単位でライセンスを購入します。初年度分の一括負担は不要です。

図 3-1　4ステップの導入。3番目と4番目は入れ替え可能です。先に試用し、その後モデルを接続しても構いません。

3.2 成果物と期間

フェーズ	期間	お客様のご提供	当社の成果物
環境評価	1〜3営業日	分離要件、想定規模	リソース一覧、構成確認書、実施スケジュール
インストール	約24時間	サーバー、ドメイン、証明書	ログイン可能な環境、ヘルスチェックレポート
AI・ストレージ	半日	エンドポイント、キー、パス	接続試験の記録、疎通テスト
パイロット	60日	参加メンバーと実際の業務	利用レポート、容量の推奨、ライセンス見積

3.3 パイロット期間に確認したい3点

- **まず1つのチャネルから。**Webチャットかメインメールボックスで「顧客が来る → 担当が応答する → 記録が残る」を回し、その後2つ目のチャネルを開きます。
- **伝票を1件通す。**見積 → 注文 → 契約 → 請求書まで実際の業務で流し、番号、税率、承認が追えるか確認します。
- **AIに上限を設ける。**まず Copilot を有効にし、Harness と Desk は必要に応じて。ソフト上限で2週間運用し、その後ハード上限に切り替えるか判断します。

パイロットは負荷試験ではない　60日間のパイロットはフローと受容性の検証であり、性能の負荷試験ではありません。ピーク時の同時接続が多い場合（例：セール期間中のチャットサポート）は、評価フェーズでお知らせください。ピークを前提にリソースをご提案します。

04

LICENSING

ライセンス、費用、責任分界

シート価格にはソフトウェアライセンス、ソフトウェアの更新、テクニカルサポートが含まれます。AIモデルとストレージはお客様がご用意するため、この構成にAI費用もストレージ費用もかかりません。この3つを分けて見れば、コストは明確です。

4.1 価格体系

$20 /シート/月	$2,400 から	$299 一時	$0 AI/ストレージ
年払い $240 / シート 最少10シート	10シートの年間費用 最低金額	インストール費用 ライセンス料に充当されません	モデルとディスク お客様のご提供

シートはいつでも追加でき、残存期間に按分して更新日に精算します。インストール費用は試用開始前にお支払いいただき、当社がインストールと調整を行います。ライセンス料とは別建てで、充当はされません。お支払いは 2Checkout（Verifone）経由で、請求書の発行も可能です。

4.2 クラウドとの3つの違い

比較項目	クラウド（SaaS）	セルフホスト
開通までの時間	15秒、インストール不要	約24時間、当社が導入・調整
データの所在	Onsites クラウド （専用はリージョン可）	お客様のデータセンターまたはプライベートクラウド
オフライン稼働	—	✓ 完全オフライン、パッケージで更新
料金	$15 / シート / 月 （年払い $180）	$20 / シート / 月（年払い $240）、10シートから
AIとストレージ	クレジットを都度購入 ストレージ $1/GB/月	お客様のご提供、当社は無償
保守と更新	当社が運用	インストール、更新、サポートを当社が提供

同じソフトウェア、同じ機能です。違いは3点だけ。データの置き場所、保守の主体、支払い方法です。

4.3 責任分界

項目	お客様のご担当	当社のご担当
ホストと回線	サーバー、ストレージ、ネットワーク、OS	ソフトウェアのインストール、設定、更新支援
モデルとキー	エンドポイントとキーを提供（当社は保有しません）	接続調整と疎通の切り分け
バックアップ	スクリプトの実行と媒体の保管	バックアップスクリプトと復旧手順の提供
セキュリティ事故	ホスト・ネットワーク層の監視と対応	ソフトウェア層の脆弱性修正と通知

次のステップ　環境の構成（Docker / 仮想マシン、物理分離、プライベートクラウド VPC）をお知らせください。1営業日以内に実行可能なデプロイ回答をお返しします。パイロットは $299 のインストール費用のお支払いから始まり、60日間の運用後にライセンス購入をご判断いただけます。
評価のお申し込み：onsitesai.com/jp/self-host.html　·　メール：support@onsitesai.com